

平成 29 年度 第 4 回（生活支援）分科会報告書

1. 開催日時：平成 30 年 2 月 22 日（火）13：30～14：30
2. 開催場所：障害者支援施設 若葉（社会福祉法人 悠光会）
3. 参加者（事業所名のみ）

若楠園、城山学園、筑水会おおぞら、年輪の園、陽だまりの里、広川町包括支援センター、ふるさと、八女作業所、八女市社会福祉協議会、ゆうゆう、夢工房、八女市、広川町、リーベル

4. 実施内容

『障害者支援施設 若葉 見学』

○若葉について

- ・全面下足で生活
 - 来訪者がつまづくことがあった
- ・喫煙：制限はないが、現在対象者なし。
 - 喫煙場所あり
- ・防犯カメラ設置（室内 35 台、室外 0 台）
- ・知己の方に大浴場を利用してもらう

A 型事業も検討したが、施設整備の面で許可が下りなかった



◆通所

- ・定員 40 名
- ・基本動作や食事マナー、傾聴姿勢やルールなどを学ぶ
- ・活動：DVD 鑑賞、ウォーキング
軽作業（おしぼりたたみ）
- ・送迎範囲：安武 ～ 青峰近辺

◆入所

- ・2F 女性棟、3F 男性棟 ー最高齢 90 歳
- ・2 人部屋。ショートステイは 1 人部屋、兄弟での利用などに備えた 2 人部屋居室を 1 ヶ所設けている
- ・施錠については自由で、日中はあまり施錠をされていない
- ・土日の過ごし方は基本的に自由
- ・余暇支援として旅行などを計画実施している。基本的に 2(利用者)対 1(支援者)の割合でプラン立て
- ・金銭管理は本部または後見人
- ・夜勤者、宿直者各 1 名（男女）
- ・定員 40 名のうち 11 名が作業班として活動（工賃発生）
 - ー活動内容：掃除、洗濯、窓拭き、売店の店員など
- ・作業班以外は基本動作や余暇活動
- ・近隣の医療機関と連携を図り、VF 検査などを実施している
- ・とろみやミキサー食など食事にも配慮し、誤嚥性肺炎予防に努めている



◆GH

- ・家賃¥27,000（補助¥10,000）
- ・日中は就労されている方が2名
- ・若葉に就労としてシーツ交換に来られている方が2名

◆入浴、温泉施設について

・元々スパリゾート施設で、温泉が引かれている。源泉 38℃（冬季は沸かして利用）

・支援区分が高く介助が必要な方が多いため、1回に4～5人程度で入浴支援。

そのため、小さい浴槽のみ利用中

・元々スパリゾート施設で、温泉が引かれている

源泉 38℃（冬季は沸かして利用）

- ・支援区分が高く介助が必要な方が多いため
- ・温泉の熱を利用した空調設備を設けている
- ・施設は広く、久留米市の指定災害福祉避難所となっている

（災害用非常用発電 MgBattery）

◆活動について

- ・人権フェスタ、きらりマルシェなどに参加

○総括

スパリゾート施設を改装、入所施設として運営されている施設への見学の要望から若葉の見学・視察を計画し、実施した。

実際の現場は、施設が大きすぎて管理が大変であることや支援区分の高い介護が必要な方が多いことから、十分に施設を利用しきれない現状など、課題とされる面もみられた。

しかし、作業班として動ける方には施設の管理（掃除・窓拭きなど）を提供し、工賃を発生させることややりがいや役割を担ってもらうことで生きがいを見出す支援の方法や広い施設を利用したウォーキング活動など、工夫をしながら支援に活かしていることを学ぶことができた。

